



# WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.57 October 10, 2016

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
  2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
  3. ジョークは簡潔が至上です。



## 第57回研究発表会

### One-liners と Two-liners (動物篇)

豊田 一男



▲ロンドン動物園 (1935年)

**One-liner** はウィットやユーモアに富む 1 行からなる寸言、名言を、 **Two-liner** は問いとそれに対する答えの 2 行からなるジョークで、問いに対してまともに答えない。そのずれのおかしさを特徴とするものです。郡司利男 (1982) 『英語ユーモア講座』(創元社) では、前者を「哲学的」、後者を「横丁的」と言い、「脱線問答」と名付けています。上手い名付けだと思います。

これからそれぞれの動物に関する **One-liner**, **Two-liner** を取り上げますが、**One-liner** が見つからなかったものも含んでいます。

**Alligator** ワニ **crocodile** とも (ジョークの中では厳密な区別はしません。)

• Then there was the baby alligator who walked over to a shoe and asked, "Are you my mommy?"

(すると赤ちゃんワニは靴の方へ歩いて行きこう尋ねた。「きみぼくのお母ちゃん?」)

お母ちゃんはワニ皮の靴にされちゃったの? ということです。

Alligator、crocodile に関して次のような表

現があるようです。別れるときに、“See you later, alligator.” “In a while, crocodile.”

(「じゃあ、またあとで」「そのうちに」) **later** と **alligator**, **while** と **crocodile** の語末の発音が同じ一種のダジャレ、語呂合わせになっています。さしたる意味はありません。

• In Florida they use alligators to make shoes.

It's amazing what they can get alligators to do!

(「フロリダでは靴を作るのにワニを使うんだ」「ワニに靴を作らせることができるとはすばらしいね」)

“get alligators to make shoes”は「靴を作るためにワニを手に入れる」とも「ワニに靴を作らせる」とも解釈できるところが笑いを誘います。

**Ant** アリ

• An ant is an insect that works hard but still finds time to go to all the picnics.

(アリは猛烈に働く昆虫だが、それでもすべてのピクニックへ行く時間は見つける。)

ピクニックにアリは付きものです。ピクニ

ックをしている人々はアリに悩まされます。

- What are the largest ants in the world?  
Gi-ants and Eleph-ants.

(「世界で一番大きなアリは?」「巨人と象です」)

本来切るべきない所で切ってダジャレになっています。

### **Bear** クマ

- Never pat a bear until it's a rug.

(クマが敷物になるまでは決して撫でるな。)

生きたクマを撫でると命を取られるぞ、ということなのです。

- What do you call a bear with no ear?

A B.

(「耳のないクマを何と呼ぶ?」「B」)

bear-(マイナス)ear = B ということです。

AB の A は不定冠詞です。AB を[エイビー]と読むと分からなく恐れがあります。

### **Bee** ミツバチ

- Honey is sweet but the bee stings.

(ミツバチは甘いですがミツバチは刺す。)

ことわざのように聞こえます。

- What did the confused bee say?

To bee or not to bee.

(「混乱したミツバチは何と言ったか?」「ミツバチでいるべきかミツバチでいてはいけないのか」)

シェイクスピアの『ハムレット』に出てくる  
“To be or not to be; that is the question.” (このままでいいのかこのままでいけないのか、それが問題だ) を下敷きにしたものじりです。

### **Bird** 鳥

- A bird in hand is worthless when you want to blow your nose.

(手の中にある一羽の鳥は鼻をかみたいとき役に立たない。)

に立たない。)

これは “A bird in hand is worth two in the bush.” (手の中の一羽の鳥は藪の中の二羽の値打ちがある) をもじったものです。日本語の「明日の 100 より今日の 50」ということわざに近いようです。

- I spent ten dollars on a canary yesterday.  
That's nothing. I spent fifty on a lark.

(「きのうカナリヤに 10 ドル使ったよ」「そんなこと何でもないよ。こっちはヒバリに 50 ドル使ったぞ」)

“on a lark” (ふざけて、冗談で) に掛けたダジャレです。

### **Buffalo** 水牛・野牛 (北米産の野牛) bison (バイソン)

- “What did the daddy buffalo say to his son when he left home?” “Bison.”

(「父さん水牛は家を出るとき息子に何と言った」「お前、じゃ行ってくるよ」)

Bison と (Good)Bye, son のダジャレです。Buffalo ではシャレになりません。

### **Bull** 雄牛

- He was like a bull in a china shop until she cowed him.

(彼は瀬戸物屋の中の雄牛のようだったが彼女が脅しつけた。)

“a bull in a china shop” (瀬戸物屋に飛び込んだ雄牛) は「がさつで不器用な男」で気配りや用心に欠ける男のことです。Cow は名詞の「牝牛」ではなく動詞の「脅す、恐れさせる」で bull と cow で縁語によるシャレにもなっています。

- What did the bull say after he visited the china shop?

I've had a smashing time.

(「雄牛は瀬戸物屋に行ったあと何と言ったか?」「とっても楽しかったよ」)

smash (打ち砕く)と smashing (すばらしい)のダジャレです。瀬戸物を粉々に砕いたのです。

### Camel ラクダ

• “How do you get down from a camel?”

“You don’t. You get down from a duck.”

(「ラクダからどうやって下りるか?」「ラクダからじゃないぞ。アヒルから下りるのさ」)

down には「(アヒルなどの)やわらかい羽毛」の意味があり、ダウンジャケットなどの down です。ダウンはラクダから取るのではなくアヒルから取るのだと言うのです。古典的なジョークです。

### Cat 猫

• She is such a bad cook, her cat only has four lives left.

(彼女は料理あまりにも下手なので、飼い猫には命が4つしか残っていない。)

ひどい料理で食中毒か何かでもう5回死んでいる、ということです。これは A cat has nine lives. (ネコには命が9つある[ので殺そうとしてもなかなか死なない]) ということわざを下敷きにしているジョークです。

• “You mustn’t pull the cat’s tail.”

‘I’m only holding it. The cat is pulling!’

(「ネコのしっぽを引っ張ちゃだめよ」「つかんでいるだけで、引っ張っているのはネコの方だよ」)

どうにでも理屈はつくものです。

### Chicken 鶏

• Chickens are the only animal you can eat before they are born and after they are dead.

(鶏は生まれる前にも死んだ後にも食べられ

る唯一の動物である。)

孵化する前に食べる卵と、鶏肉にされて食べる鶏は別物のはずですが…。

• “That’s rather a small egg, isn’t it?”

“Give it a chance. It was only laid yesterday.”

(「その卵はちょっと小さくないか」「チャンスを与えてください。昨日生まれたばかりなんです」)

しばらくすると大きくなりますと言わんばかりです。

### Cow 牝牛

• It was so hot the cows were giving evaporated milk.

(あまりの暑さで牝牛たちは濃縮牛乳(エバミルク)を出していた。)

このように絶対あり得ない話を Tall tale (大ぼら話) といいます。もっともジョークの多くは、そもそも Tall Tale ですが。

• What is cowhide chiefly used for?

To keep the cow together.

(「牛の皮は主に何に使われるか」「牛をバラバラにしないため」)

素直に考えると、もちろん靴やバッグを作るためです。このようにはぐらかす答えが Two-Liner の特徴です

### Deer 鹿

• “What do you call a deer with no eyes?”  
“No eye deer.”

(「目のない鹿を何と呼ぶ?」「目なし鹿」)

No eye deer (目なし鹿)と No idea (分からない)のダジャレです。

### Dog 犬

• A dog is the only friend you can buy for

money.

(犬は金で買える唯一の友である。)

金で買っても、人間と違い、裏切らない友達ということですよ。

• Look here, don't you know my office hours are from 8 to 10?

Yes, doctor, but the dog that bit me didn't.

(「いいかい、診療時間は8時から10時だと知らないのかい?」「知ってます、先生、でも僕を咬んだ犬は知らなかったんです」)

“from 8 to 10”は短か過ぎますが、この獣医は2時間で十分稼いでいるのでしょうか。

### **Egg** 卵

• When you want to make some omelets, make sure you have some eggs.

(オムレツを作りたくなったら、必ず卵を用意しなさい。)

当たり前だと思いますね。これは “You can't make an omelet without breaking eggs.” (卵を割らずにオムレツは作れない) つまり、何かを成し遂げるにはいくらか犠牲が必要だ、ということわざをもじったものです。確かに、割るも割らぬも卵がなければオムレツは作れません。

• What's wrong with these eggs, waiter?

I don't know. I only laid the table.

(「君、この卵は何かおかしくないか?」「さあ、分かりません。私は食卓を整えただけです」)

私は卵を産んでいません。lay an egg (卵を産む) と lay the table (食卓を整える) の lay のダジャレです。Lie と lay (過去形は laid) の区別は、ネイティブスピーカーも間違えるようです。

### **Elephant** 象

• Once there was an elephant who went

away to forget.

(かつて忘れるために立ち去った象がいた。)

これは “An elephant never forgets.” (象は決して忘れない。) ということわざを踏まえたものです。象は記憶力が良い、一度経験したことは決して忘れないと言われていています。

• How much did the psychiatrist charge the elephant?

\$ 35 for a visit and \$300 for the couch.

(「精神科医は象にいくら請求したか」「治療に35ドル、寝椅子に300ドル」)

couch は、精神科医の診療室にある、患者を横たわせるためのものです。象が横になったために寝椅子が壊れてしまったので、修理費として高額を請求した、ということです。

### **Fish** 魚

• The best way to keep fish from smelling is to cut off their noses.

(魚が臭わないようにする最良の方法は、魚の鼻を切り取ることだ。)

smell の「臭いがする」と「臭いをかぐ」のダジャレです。臭いがしないようにするには新鮮なうちに食べるべきですね。

• Did you wash the fish in the fishbowl?

I didn't. The fish didn't finish the old water yet.

(「金魚鉢の金魚をきれいに洗ったかい?」「洗わなかったよ。古い水をまだ飲み切っていなかったもの」)

金魚がパクパクするのは水を飲んでいるのだと思った、ということです。

### **Flea** 蚤 (のみ)

• Fleas love her hair; they leave babies there.

(蚤は彼女の髪の毛が好きだ。赤ん坊たちをそ

ここに置いておく。)

赤ん坊ノミたちはそこでぬくぬくと成長するので。

- How do you start a flea race?

One, two, flea, go!

(「蚤の競走はどうやって始めるか?」「ワン、ツウ、フリー、ゴー」)

three や think の[th]の音をうまく発音できない子供は[f]の音で代用する。例えば、I think を I fink と発音するのです。もっとも、flea と three では[l]と[r]の違いもありますがこれは大した問題ではありません。

## **Fly** ハエ

- I said, “Fly, fly” and the fly flew.

(「私が「ハエ、飛べ」というと、ハエは飛んで行った。)

fly の「ハエ」と「飛ぶ」の[f]の音を重ねた最も単純なダジャレです。

- I don't like the flies here.

Well, come around tomorrow, we'll have some new ones.

(「このハエは気に入らないね」「じゃあ、明日立ち寄ってください、新しいのをそろえておきます。)」

レストランの客とウェイターのやりとりでスープにハエが入っている状況は、ジョークの定番です。ほとんどの場合、ウェイターが客をバカにするのです。

## **Frog** カエル

- A frog is the only thing that has more lives than a cat; it croaks every night.

(カエルはネコより命の数が多い。毎晩ケロケロ鳴く。)

croak の「ケロケロ鳴く」と「(俗語) くたばる (die)」のダジャレです。カエルは毎晩死

ねるほど多くの命を持っているというのです。

- “What happens to a frog’s car when it break down?” “It gets towed away.”

(「カエルの車が故障するとどうなるか」「引っぱられて行かれる」)

toad (ヒキガエル) と tow (引っ張って行く)のダジャレです。

## **Giraffe** キリン

- A giraffe has to eat an early breakfast if it wants the food to reach his stomach by lunch!

(キリンは食べたものが昼食前に胃に行き着くようにしたいなら早めの朝食を食べねばならない。)

首が長いので食べたものが胃になかなか到着しない、というのです。

- Seriously, why do giraffes have such long necks? Their feet smell.

(「まじめな話、キリンはなぜ首があんなに長いんだ?」「足が臭うからさ」)

足から鼻までの距離が長いので臭い思いをしなくて済む、ということです。

## **Horse** 馬

- The horse I bet on came in so late, he had to tiptoed not to wake the other horses.

(私が賭けた馬はあまりにも遅くゴールしたので、他の馬たちを起こさないようにつま先でこっそり歩かなくてはならなかったほどだ。)

まさか、と思える Tall Tale (大ぼら話)です。

- How do you make a slow racehorse fast? Don't feed him!

(「どうやってのろい競走馬を速くできるか?」「餌をやらないことだ」)

make a racehorse fast は「競走馬を速くする」とも「競走馬に断食させる」とも取れるダ

ジャレです。Breakfast は break (破る)+fast (断食)で、睡眠中の断食状態を朝破って食べるのが朝食というわけです。

### **Kangaroo** カンガルー

- To a kangaroo, every year is leap year!  
(カンガルーにとって毎年がうるう年だ。)

カンガルーは leap (飛び跳ねる)することからできたダジャレです。

- Why was the young kangaroo thrown out by his mother?

For smoking in bed!

(「若いカンガルーが母親に投げ出されたのはなぜか」「ベッドの中でタバコを吸ったから」)

母親の袋の中でタバコを吸うとは、先が思いやられます。

### **Lion** ライオン

- If I ever come face to face with a lion, I know what steps to make: Long ones!

(ライオンに直面したらどうすればいいか知っている。大股で逃げることだ。)

make a step は「進む、進捗する」もちろん、逃げられる筈はありません。

- Do you know how to stop a lion from charging?

Sure. Take away his credit card.

(「ライオンが突進してくるのをどうやって止めるか分かるか?」「クレジットカードを持ち去ればいい」)

charge の「突進する」と「充電する、チャージする」のダジャレ。クレジットカードを持ち去れば、ライオンはクレジットカードにチャージできません。

### **Lobster** イセエビ、ロブスター

- A lobster is a sea creature that plays tennis.

(ロブスターはテニスをする海の生物だ。)

テニスでボールを高く打ち上げるのをロブと言います。-ster は「\_\_する人」で Lob+ster は(ロブをあげる人) となります。

- Why did the lobster blush?

It saw the salad dressing.

(「なぜロブスターは赤面したのか」「サラダドレッシングを見たから」)

see ~doing は「~が~するのを見る」で「サラダが着替えているのを見た」ので赤面したのです。ロブスターはそもそも若干赤みがかっていますから、さらに顔を赤らめた、ということになります。

### **Monkey** 猿

- I haven't much doubt that man sprang from the monkey, but where did the monkey spring from?

(人間が猿から派生したことにあまり疑いを持たないが、しかし猿はどこから派生したのか?)

少なくとも筆者は知りません。

- How do you catch a monkey?

You climb a tree and act like a banana.

(「君なら猿をどうやって捕まえる?」「木に登ってバナナのように演技すればいいさ」)

バナナが猿の大好物だとしても、どんな演技をするのかなどと考えてはいけません。

### **Moth** 蛾 (が)

- A moth is an animal that spends the summer in fur coats and the winter in bathing suits.

(蛾は夏を毛皮のコートの中で、冬を水着の中で過ごす動物だ。)

だから命を取られることはない。

- What animal eats the least?

A moth. It just eats holes.

(「最も少食の動物は何か?」「蛾だ。ただ穴を食べるだけだから」)

穴を食べるのではなく、食べるから穴ができるのです。例えば、dig a hole (穴を掘る)は「掘ったから穴が出来る」ということです。

### Octopus タコ

• There's an intersection in Rome that has so many cars merging at the same place that they hired an octopus to direct traffic.

(ローマのある交差点ではあまりにも多くの車が同じ場所で合流するので、交通整理に一匹のタコを雇った。)

足[手]が8本あるから交通整理がし易い、ということ。どうやって立っているのだなどと疑問を持たないのがジョークの常識。(このジョークは発表したものと差し替えました。)

• How does an octopus go into battle?

Well armed!

(「タコはどのように戦いに臨むか?」「十分武装して」) arm (タコの足) と armed (武装して) のダジャレです。

### Pig 豚

•

• What kind of tie does a pig wear?

A pigsty.

(「豚はどんな種類のネクタイをするか」「豚ネクタイ」)

pigsty (豚小屋) と pig's tie (豚のネクタイ) のダジャレです。

### Rabbit ウサギ

• Depend on the rabbit's foot if you will, but remember it didn't work for the rabbit.

(R.E.Shay)

(その気ならウサギの足を当てにしろ、しかし

そのウサギにとっては何の効果もなかったことを忘れるな。)

rabbit's foot は特にギャンブラーなどが幸運のお守りとして持ち歩く。特に右の後ろ足が良いという。ウサギは不運にも殺されてしまったのだから、お守りにはならなかった、ということ。R.E. Shay はアメリカのユーモア作家。この one-liner が特に有名のようです。

• What do you call a rabbit with a lot of money?

A million-hare.

(「大金持ちのウサギを何と呼ぶ?」「100万ドルウサギ」)

millionaire (百万長者) と million-hare は発音がほとんど同じでダジャレになっています。

### Shark サメ

• You don't have to swim faster than the shark, just faster than the guy next to you.

(サメより速く泳がなくてもいい、ただ隣を泳いでいる奴より早ければいいのだ。)

隣で泳いでいる奴がサメの餌食になるので君は助かる、というのです。

• What kind of shark is the most cunning?

The loan shark.

(「一番ずるいのはどんなサメか?」「貸し付けザメ」)

loan shark は「高利貸し、サラ金業者」です。

### Sheep 羊

• Counting sheep is not a guarantee against insomnia, because babies can't count.

(羊の数を数えることは不眠症の保証にはなら

ない、なぜなら赤ん坊は数を数えられないからだ。)

count sheep は眠くなるように羊の数を数えることですが、赤ん坊はそれができないので眠ってくれない。数を数える代わりに泣き叫ぶのです。

• Do you know it takes a half dozen sheep to make a sweater?

I didn't even know they could knit!

「セーター1枚編むのに羊が6頭要るのを知ってるか?」「羊が編み物ができることさえ知らなかったよ!」

前者の発言を「6頭の羊が自ら1枚のセーターを編む」とわざと曲解しています。

### Skunk スカンク

• You can lead a skunk to water but you can't force him to stink.

(スカンクを水際まで連れて行くことはできても、悪臭を出させることはできない。)

これは You can lead a horse to water, but you can't make him drink. (馬を水際まで連れて行くことはできても、水を飲ませることはできない。) ということわざのもじりです。

このことわざが言わんとすることは、「チャンスを与えても本人がその気がなければどうにもならない」ということです。

• How much money does a skunk have?

One scent.

(「スカンクはいくらお金を持っているか?」「1セント」)

これは cent (セント[貨幣の単位]) と scent (におい) の同音異義語のダジャレですが、scent は smell (におい; 悪臭) とは異なり「ほのかな良い香り」ですから、このダジャレは出来が悪いです。

### Snake ヘビ

• There was once a nearsighted snake who fell in love with a rope.

(かつて近視のヘビで、ロープに恋をしたのがいた。)

ロープをヘビと間違えたのです。

• Why can you never play jokes on snakes? Because you can't pull their legs.

(「なぜヘビをからかえないのか?」「足を引っ張れないから」)

play a joke on ~ は「~をからかう、担ぐ」です。pull ...'s leg は「(冗談で)...をだます、からかう」で、日本語の「足を引っ張る」の意味ではありません。

### Spider クモ

• What do French spiders like to eat? French flies.

(「フランスのクモは何を食べるのが好きか?」「フランスハエさ」)

French flies (フランスのハエ) と French fries (ポテトフライ) のダジャレです。日本人は [l] と [r] の区別ができないことをからかわれますが、このジョークに見る通り、大した問題ではありません。

### Tiger トラ

• When a man wants to murder a tiger he calls it a sport; when a tiger wants to murder him, he calls it ferocity.

(George Bernard Shaw)

(トラを殺すことを人間はスポーツと呼ぶのに、トラが人間を殺したいときはそれを獐猛さと呼ぶ。)

人間の身勝手さを揶揄しています。George Bernard Shaw (1856-1950) はイギリスの



劇作家・評論家で、多くの One-liner を残しています。

• I wonder what that tiger would say if it could talk?

It would probably say, "Pardon me, but I'm a leopard!"

(「しゃべれたらあのトラは何と言うだろうか?」「たぶんこう言うだろう「何だって、俺はヒョウだぞ」と。)

最初の話し手はトラと思ったが、実はヒョウだった。ヒョウはムツとして、トラのしま模様とヒョウの斑点の区別もできないのか、と腹を立てているということでしょうか。

### **Tortoise** カメ

•

• What's a tortoise?

What the teacher did in school today.

(「カメって何ですか?」「今日授業で先生が言ったことです」)

tortoise と taught us (我々に教えた)のダジャレです。筆者は tortoise を[トオトイス]と中学の先生に習って、かなりずっとこう発音するものだと思っていました。「先生の教えは尊いす」です。

### **Turkey** 七面鳥

•

• Why did the turkey cross the road?

To prove he wasn't a chicken.

(「七面鳥はなぜ道路を渡ったか?」「鶏でないことを証明するため」)

chicken には「臆病者」の意味があります。この道路を横切る話はジョークの定番です。

### **Whale** クジラ

• Whale — nature's proof that swimming doesn't always improve the figure.

(クジラ：泳ぐことが常にスタイルを良くするとは限らないという自然の証明。)

クジラはスタイルが悪いと思っている人には納得がいくでしょうが...

• How do you know the weight of a whale?  
Take it to a whale weigh station.

(「クジラの体重はどうやって分かるの」「クジラ体重調査局へ連れて行くのさ」)

railway station (駅) と whale weigh station のダジャレです。両者はほとんど同じに聞こえます。

### **Wolf** 狼 (オオカミ)

• A great way for a girl to get a mink is to find a wolf and skin him.

(若い女性がミンクの毛皮を手に入れるにはオオカミを見つけてその皮をはげばよい。)

wolf は「女性を誘惑しようとする男」で skin は「((俗語) 打ちのめす」。女たらしにわざと隙を見せて言い寄らせてうまくやれば、大金をはたいてミンクのコートを買わせることができる、と解釈しましたがどんなものでしょう。

• What's a wolf's favorite fruit?

A pack of apples.

(「オオカミの大好きな果物は?」「リンゴ 1箱」)

これは何がおかしいのかわかりません。オオカミの群れを “a pack of wolves” と言いますが、この表現のもじりではおもしろくありません。apple に何か意味がありそうですがいまのところ不明です。

### **Zebra** シマウマ

• One fellow chased down a zebra and made a coat for his brother in jail!

(男はシマウマを追いかけて行き、刑務所に

入っている兄弟のためにコートを作ってやった。)

囚人服はしま模様です。シマウマは馬の一種ではなく、飼いならすことはできない動物だそうです。

• What's a zebra?

26 sizes larger than an 'A' bra.

(「シマウマって何だ?」「Aブラの 26 倍」)

brassiere(ブラジャー)のサイズは A cup, B cup, C cup...で表します。zebra と Z-bra のダジャレです。それにしても巨大なブラジャーです。

### The Zoo 動物園

• Have you ever been to the zoo? I mean as a visitor?

(動物園へ行ったことがあるか。見物客として。)

君は動物園の動物みたいだから檻の中が相応しい、ということです。人を侮辱するジョーク (insulting joke) です。

次も同工異曲です。

• When I was seven years old my father took me to the zoo.

Were you accepted?

(「7 歳のとき父は私を動物園へ連れて行ってくれたよ」「受け入れてもらえたか?」)

動物園の動物として。

会報の「英語の超入門講座」で One-Liner, Two-liner について少し発表したのを見て、佐川編集長に例会で 50 分話せとの依頼に応えたつもりですが、なかなか一筋縄ではいかないことを痛感しました。話すことと書くこととの違いを痛感しました。ジョークの解釈の違いなどご指摘いただければ幸いです。

## 第 33 回ジョーク・コンテスト

### MC の記

舟崎 正敏



今回は 16 作品が出品されましたが、良いもの、また深いものが多くありました。1 回目の投票後の、解釈についての討論のあと、2 回目の投票に際し、3 つに絞るのは難しい、せめて 4 つ選びたいという意見が出た位でした。1 回目に一人 3 つ選んで投票したので 2 回目に 4 つでは不具合とて、やはり 3 つに絞ってもらいました。しかし今後そういうやりかたをとるのも一案と思います。

1. 表現と動作を取り違えた女学生、薄型の LED TV では無理ですね。
2. Coca-cola と Fanta を取り合わせたファンタジー。良く出来ていると思います。
3. 新婚の夫が、妻よりじきに 3 人になると聞いて喜んだ 3 人目は妻の母。
4. Fine for parking と書いてあるので、駐車したと。私もやりそうです。(佐川光徳会員一第二位)。
5. Autumn leaf の会話、fall (秋) にひっかけ falling for you (魅せられる) としたきれいな joke だと思います。
6. 貴方のは当たらなかったわよという妻。究極の開き直り?
7. 物忘れがひどくてという患者に、診察費を忘れないうちに払ってという医者。名医かも。
8. 秘密は not worth keeping か too good to keep かに分類される? 女の口は恐ろしい。(今井真由美会員一第三位タイ)。
9. Hot day に cold drink, cold night に hot

friend 言うことなしですね。まさに PRICE-LESS。相手がいるならば。(相原悦夫会員一第三位タイ)。

10. 一番泣かせる本は my bankbook。Fiction なしですからね。

11. 難しい joke です。ダメ巡査が apprehend (逮捕する) というべきところを comprehend, suspicious persons とするべきところを auspicious persons としたので、張り込んであやしい奴を捕まえたというべき報告がとんでもなくばかばかしい報告になってしまったという高度の joke のようです。

12. 道路工事用の scraper なる重機を使わないと耳が持ち上がらない? どういう太り方?

13. 全く期待していなかった人が都知事になって困った信三さんの気持ちが表れていると思います。豊洲問題が予想外に大きくなったこともあり、信三さんの日記の続編を見たいところです。

14. 理想の audience は intelligent/humorous/a little drunk であること。ごもつとも。わが会のメンバーはアルコールなしでも昼間から a little drunk につき理想的か。

15. 酔っぱらって隣の家のベッドへ。結構な住環境ですね。(宮本倫好代表一第一位)

16. 象に呆れられるとは。象だからいいか? 挿絵がなんともいえませんね。

Nudist 村を設計した友人を思い出しました。彼は村の完成後に出来栄え、住み心地を見たいと 施主に申し出たところ、是非どうぞと言われ勇んで行った。入口の守衛から入村にうるさい条件は全くない、一切布を付けないこと、それだけです。そこにロッカーがあるから着衣を入れたらいいですよと言われ、自信がないので涙を呑んだ由。

尚、今年も残暑が厳しく地球温暖化についての joke が今後多く出るやもと思います。以前にも、海面が上昇すれば石炭火力発電所が沈むから、温暖化はバランスよく収まるといった joke がありました。

理科系くずれ(理科系出身だが、学校を出てからは販売専門で技師ではありません)の私ではありますが、温暖化について世間の誤解は少々目に余ると感じおります。下記を踏まえたいうでの温暖化 joke なら歓迎ですが。

今回 MC をおおせつかったのを幸い、無理やり 5 分強時間を貰い、下記説明をさせて貰いました。

A 北極海の氷が解けると海面が上がり東京は海面下に沈むなどということはありません。

① 水は氷になると膨らみ、比重は 0.91 位になるので、氷になると一部は水面の上に顔を出して浮く。

氷が温まり水に戻れば、体積は小さくなり水に戻る。氷が縮んで水になるわけで、元に戻るだけだから、水面上昇はない。そう言われれば誰でもそう思うが、北極海の氷と言われると騙されてしまう。

② 寒い国の山の雪、氷とかが溶けて流れ出せば、やはり海面水位が上昇するのではないかという疑問は残るが、

a. 真冬でも山の雪、氷は流れ落ちている。エベレストでもマッキンレーでも、標高が高くなったという話はないではないか。

b. アイスランドの電力の 80% は水力。真冬でも水力発電ができる。つまり、真冬でも水は流れているのです。

c. 温度が上がれば大気はより多く水分を吸収できる。溶けた雪の水分吸収はできると思う。

雨が降るのは大気が冷たい空気に触れて持

ち切れない水分を落とすからです。大雨が降るといのは、大気がいかに大量の水を保持できるかという証です。

**B.** CO<sub>2</sub>は温暖化の一つの原因かもしれないが、温暖化の原因だとは断定できない。

平安時代の作品、『古今著聞集』、『枕草子』、などに、“おこり”で苦しむという記述があります。“おこり”は古語辞典にもあるとおり、マラリアです。つまり平安時代は京都でマラリア蚊が住めたほど暑かったということです。平安時代は今より暑かった、しかしCO<sub>2</sub>は今より多かったのでしょうか。

(我がクラブの「歩くエンサイクロペディア」殿から、今や気象学会ではCO<sub>2</sub>原因説を唱える学者は2割にも満たないと補足説明をいただきました。)

温暖化についての論議は学術的ではなく、多分に政治的な面があります。温暖化の原因が何か、実のところ何も分かっていません。

もし地球が太陽にもっと近い距離で回っているなら、海の水は蒸発してしまう、逆に地球が太陽からはるか遠くを回っていれば、海水は全部凍り地球は氷の惑星になってしまいます。地球は奇跡的に良い軌道をまわっているわけです。しかし太陽の状態も一定ではなく、大きさ、温度、重量がいつも同じではないでしょう。

さようなわけで、温暖化についてはいろいろな角度から調査し原因を探らねばなりません。大変難しいことですが。(本当は寒くなるほうが心配です。氷河期に入りでもしたら、今の人口を保てるのでしょうか。)

上記しだいで、我がクラブのメンバーには温暖化はCO<sub>2</sub>だけが原因といわんばかりの妙な説に惑わされることなしでjokeを楽しむべしと考え、敢えて説明させていただきました。

## 第 58 回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちいたします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：**2016年11月19日(土)**  
**14:00~16:00**
- 会場：**日本近代文学館** (2階会議室)  
(東京都目黒区駒場 4-3-55、駒場公園内)  
電話：03-3468-4181
- 交通：京王井の頭線「駒場東大前」駅(渋谷駅から二つ目)下車徒歩約7分。

- プログラム

司会 = 豊田一男会員

### ① 研究発表

「Is it a Joke or a Quiz?」

岡田茂富会員

### ② 第34回ジョーク・コンテスト

MC = 棚橋征一会員

参加費：会員・非会員とも 1,000 円

連絡先：[jlcweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlcweb-renraku@eigojoker.com)

## 第 34 回ジョーク・コンテスト出品募集

1. 語数は、**30 WORDS** を上限とします。
  2. 出題数はお一人一題までとします。
  3. 出品されるジョークは、かならずしも自作のものである必要はありません。
- 宛先：[jlcweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlcweb-renraku@eigojoker.com)
  - 締め切り：**2016年11月6日(日)**

WE, JOKERS No.57

英語のジョークを楽しむ会 (Joke-Loving Club) 会報

発行日：2016年10月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

連絡先：[jlcweb-renraku@eigojoker.com](mailto:jlcweb-renraku@eigojoker.com)